

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



- 電源を切る
- ACパワーアダプターをコンセントから抜く
- ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く

危険 下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

指定以外のACパワーアダプターを使わない

必ず指定のACパワーアダプターを使用してください。破裂や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。



禁止

警告 下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。



火災

感電

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

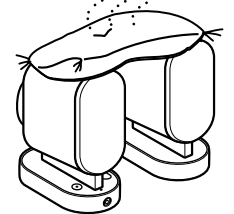


本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止



注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の家財に**損害**を与えたりすることがあります。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。

長時間使用しないときはACパワーアダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のためACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。

お手入れの際、ACパワーアダプターを抜く

ACパワーアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



禁止



プラグをコンセントから抜く



プラグをコンセントから抜く

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲

による**大けが**や**失明**を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

ボタン型電池 リチウム電池CR2025

危険 ボタン型電池が液漏れしたとき

ボタン型電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて+と-を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。

注意

- 火のそばや直射日光の当たるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

SONY

アクティブスピーカーシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SRS-ZX1

© 2007 Sony Corporation Printed in China

正しくお使いいただくために

安全上のご注意

安全について：付属のACパワーアダプターをお使いになるときは、家庭用電源コンセントについてお使いください。

ACパワーアダプターについて：ACパワーアダプターを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずACパワーアダプターを持って抜いてください。

留守にするときは：本機の電源ボタンをスタンバイにしなければ、電源は完全に切れていません。ご旅行などで長い間お使いにならないときは、必ずACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。

異物について：特に、ジャック部には異物を入れないでください。故障や事故の原因になります。

異常や不具合が起きたら：万一、異常や不具合が起きたときや異物が中に入ったときは、すぐにACパワーアダプターを抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

取り扱い上のご注意

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所。
 - 窓を閉め切った自動車内(特に夏季)。
 - 風呂場など、湿気の多い所。
 - ほこりの多い所、砂地の上。
 - 時計、キャッシュカードなどの近く。(防磁設計になっていますが、録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーの前面に近づけないでください。)
- 平らな場所に設置してください。
- 設置条件によっては、倒れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。
- 持ち運ぶ際、フロッピーディスクやクレジットカードなど磁気の影響を受ける物は、スピーカーシステムの近くに置かないでください。

モニター画面に色むらが起きたら

このスピーカーシステムは防磁型 (JEITA*) のため、モニターのそばに置いて使うことができますが、モニターの種類により色むらが起こる場合があります。

色むらが起きたら：いったんモニターの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。

それでも色むらが残るときは：スピーカーをさらにモニターから離してください。

さらに：スピーカーの近くに磁気を発生するものがないようにご注意ください。スピーカーとの相互作用により、色むらを起こす場合があります。

磁気を発生する物：ラック、置き台の扉に装着された磁石、健康器具、玩具などに使われている磁石など。

主な仕様

スピーカー部		取扱説明書 (1) 保証書 (1) ソニーご相談窓口のご案内 (1)
型式	フルレンジバスレフ型防磁型 (JEITA*)	
使用スピーカーインピーダンス	直径 57 mm 4 Ω	
定格入力	20 W	
最大入力	40 W	
アンプ部 (左スピーカー)		
実効出力	20 W+20 W (全高調波歪 10 %、1 kHz、4 Ω) (JEITA*)	
入力	ステレオミニジャック × 2	
入力インピーダンス	4.7 kΩ (1 kHz)	
電源部・その他		
電源	DC16 V (付属のACパワーアダプターを接続してAC電源から使用)	
最大外形寸法	約80 × 187 × 169 mm (幅/高さ/奥行き)	
質量	約1200 g (左スピーカー) 約1100 g (右スピーカー)	

付属品

ACパワーアダプター (1)
ACパワーコード*2 (1)
接続コード (ステレオミニプラグ ↔ ステレオミニプラグ) (1 m) (1)
リモコン (1)
リチウム電池CR2025 (1) (リモコン装着済：お試用)

別売りアクセサリ

プラグアダプター PC-234S (ステレオ標準プラグ ↔ ステレオミニジャック)
PC-236MS (ミニプラグ ↔ ステレオミニジャック)
接続コード RK-G22 (ステレオ標準プラグ ↔ ステレオミニプラグ) (1.5 m)
RK-G129 (ステレオミニプラグ ↔ ミニプラグ × 2) (1.5 m)
RK-G136 (ステレオミニプラグ ↔ ステレオミニプラグ) (1.5 m)
RK-G138 (ステレオ2ウェイプラグ ↔ ステレオミニジャック) (3 m)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

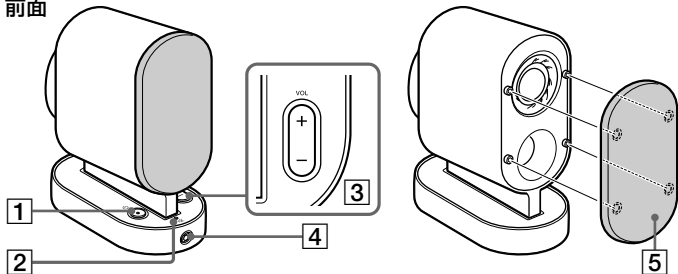
*1 JEITAは(電子情報技術産業協会)の略称です。

*2 付属のACパワーコードは本機専用です。他の機器ではご使用になれません。

各部のなまえ

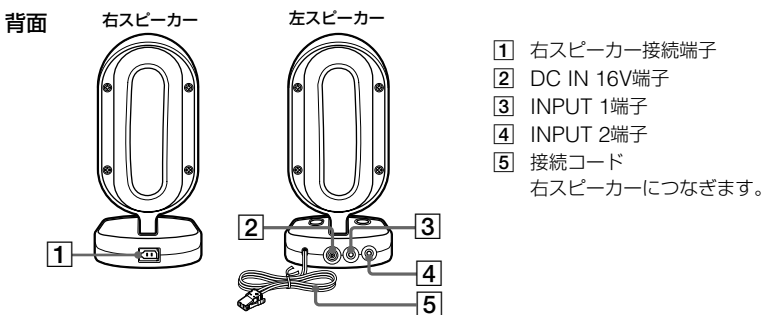
本体

前面



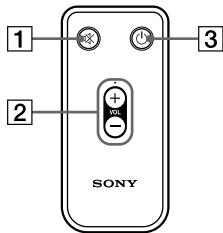
- 1 電源ボタン/ランプ
- 2 消音(※)ランプ
- 3 VOL(音量) +/- ボタン
- 4 リモコン受光部
- 5 スピーカーグリル
お好みに応じて取りはずすことができます。

背面



- 1 右スピーカー接続端子
- 2 DC IN 16V端子
- 3 INPUT 1端子
- 4 INPUT 2端子
- 5 接続コード
右スピーカーにつなぎます。

リモコン

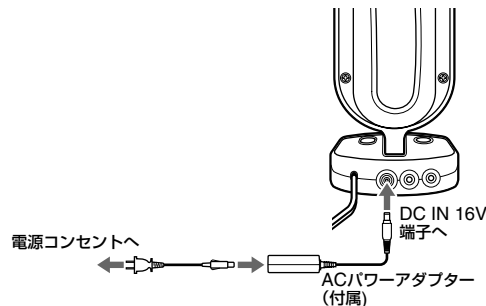


- 1 消音(※)ボタン
- 2 VOL(音量) +/- ボタン
- 3 電源ボタン

リモコンの動作距離は、最大約5 mです。

電源について

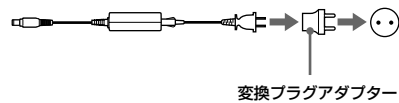
付属のACパワーアダプターを本機に接続します。



- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険をさけるために、ACパワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、ACパワーアダプターの上に花瓶などの水のいったものを置かないでください。

海外で使うときは

付属のACパワーアダプターは、AC100-240V、50/60 Hzの範囲でお使いいただけますので、世界中のほとんどのホテルおよび家庭用電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状は各国、各地さまざまですので、お出かけ前に旅行代理店などでお確かめください。



- 海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器(トランスコンバーター)」などはご使用にならないでください。故障の原因となることがあります。

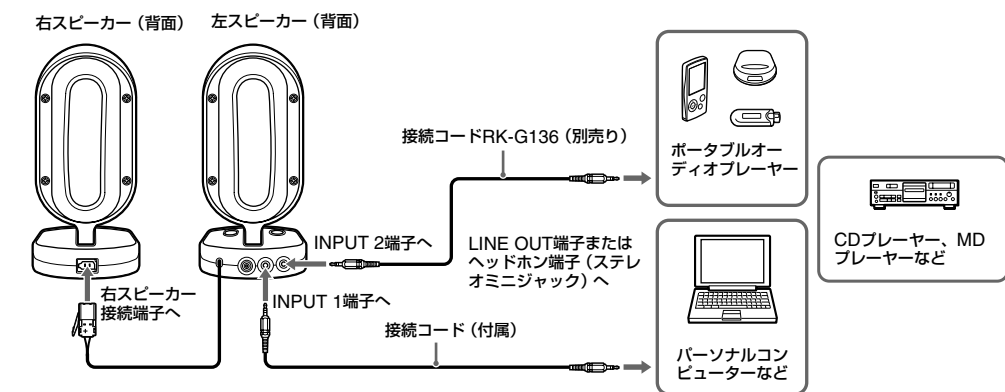
ご注意

- ACパワーアダプターを抜き差しする前に電源をお切りください。電源を入れたまま抜き差しすると、誤動作の原因になる場合があります。
- この製品には、付属のACパワーアダプター(極性統一形プラグ・JEITA規格)をご使用ください。付属以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



準備する

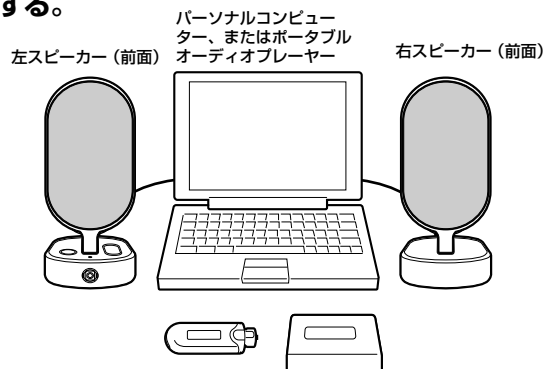
1 スピーカーとお聞きになる機器を接続する。



右スピーカーから音が出ないときは
モノラルジャックに接続したときは、左スピーカーからしか音が出ないことがあります。別売りのプラグアダプターPC-236MSを使うと左右のスピーカーから音が出ます。

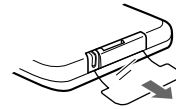
標準タイプのヘッドホン端子(カセットデッキなど)に接続するには
別売りの接続コードRK-G22または別売りの接続コードRK-G136およびプラグアダプターPC-234Sをお使いください。

2 スピーカーを配置する。



3 リモコンの準備をする。

絶縁シートを引き抜いてリモコンを使用できる状態にします。リモコンには電池がすでに入っています。



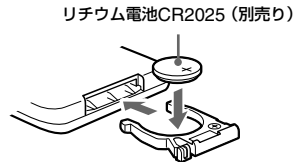
電池の交換について

電池が消耗してくると、リモコンで操作できる距離が短くなります。下記の手順で、電池を新しいものと交換してください。電池寿命は約6ヶ月です。ただし操作する条件により寿命は変わります。

1 電池ケースを取り出す。



2 +と書かれた面を上にしてリチウム電池CR2025を新しい電池と取り換える。



接続した機器を再生する

1 本機の電源ボタンを押して電源を入れる。

ランプが点灯します。

2 接続した機器を再生する。

3 音量を調整する。

接続した機器を適度な音量にして、本機のVOL +/- ボタンで調整します。

ヒント

スピーカーの音を消すときは、本機リモコンの消音ボタンを押します。音を出すときは、もう一度押します。

ご注意

音量を最小または最大にしたときは、「ビピッ」というピー音が聞こえます。

3 電池ケースを元に戻す。

ご注意

- リチウム電池を誤って飲み込むことのないよう、電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- リモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。

4 使用後は電源ボタンを押して電源を切る。

ランプが消灯します。

ご注意

- INPUT 1端子とINPUT 2端子に接続した機器の両方を同時に再生すると、音が混ざって聞こえます。
- ラジオまたはチューナーを内蔵した機器に接続した場合、ラジオ放送が受信できなくなったり、感度が大幅に低下する場合があります。
- 接続する機器のバスブースト機能やイコライザー機能は無効にしてください。これらの機能が有効になっていると、音がひずむことがあります。
- ヘッドホン端子がLINE OUT端子を兼用している機器に接続した場合は、接続機器の出力をLINE OUT出力に設定することで、より高音質でお楽しみいただけます。出力設定の操作について詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
音が割れる、またはノイズが出る	入力信号が大きすぎる。	接続した機器の音量を下げる。
	接続した機器のバスブースト機能を使用している。	バスブースト機能を解除する。
	接続した機器のヘッドホン端子に接続している。	接続した機器のLINE OUT端子に接続する。またはLINE OUT出力に設定する。
	接続コードがしっかり接続されていない。	接続コードを確実に接続する。
音が小さい、または音が出ない	テレビに近すぎる所に設置されている。	テレビから離して設置する。
	電源ボタンがOFFになっている。	電源ボタンをONにする。
	VOL +/- ボタンが最小に絞られている。	VOL +/- ボタンで調節する。
リモコンで操作できない	接続コードがしっかり接続されていない。	接続コードを確実に接続する。
	入力信号が小さすぎる。	ヘッドホン端子に接続した場合は、接続した機器の音量を上げる。
	スピーカーから離れすぎている。	リモコン受光部に近づけて操作する。
リモコンに電池が入らない(きつい)	スピーカーのリモコン受光部の前に障害物が置いてある。	リモコン受光部の前から障害物を取り除く。
	スピーカーのリモコン受光部に強い光(直射日光や高周波点灯の蛍光灯など)が当たっている。	リモコン受光部に光が当たらないようにする。
電源ランプがちらつく	電池が消耗している。	新しい電池と交換する。
リモコンに電池が入らない(きつい)	電池を逆に挿入できない構造になっています。極性(+/-)を確認して正しく入れてください。	
電源ランプがちらつく	音量を上げたときに電源ランプがちらつくことがありますが、故障ではありません。	

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではアクティブスピーカーシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ……………0120-333-020	フリーダイヤル ……………0120-222-330
携帯電話・PHS一部のIP電話 ……………0466-31-2511	携帯電話・PHS一部のIP電話 ……………0466-31-2531

*取扱説明書、リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。